

2019年度 子どもたちの“こころを育む活動”優秀賞



特定非営利活動法人  
**Art for Children's SHINE**

千葉県

児童養護施設で暮らす子どもたちへのアートセラピー活動



セッションを始めた頃は恥ずかしがったり、なかなか手が動かなかつたりした子どもたちも、回を重ねるごとに素の姿を見せて、思い思いの自己表現を始めます。終わった後の満足そうな笑顔はとても輝いていて素敵です。その笑顔にスタッフも力づけられます。

## 活動の概要

アートはいつの時代も、人のこころの奥に潜むもの、社会の裏側に隠れているものに形を与え、人々に見えるようにすることを使命としてきました。当法人では、臨床美術士の資格を持つメンバーが中心となり、千葉、東京、鎌倉の3つの児童養護施設を毎月1回訪問し、アートセッション（導入→造形活動→鑑賞会）を実施。年に1回は各施設の子どもたちを連れてデイキャンプを行っています。困難な状況に置かれた子どもたちにアート体験を届け、自分を自由に表現できる特別な時間を通して、子どもたちの自立心や自尊心を育み、心身の安定と成長を支援することを目的としています。



2012年、児童相談所の職員だった柴田代表が、「アートで子どもたちを癒せたら」と、児童養護施設でアートセラピー活動を始めました。



制作後の「鑑賞会」では、人と比較しない、上手い下手を言わない、制作過程や作品の個性、よい点を評価することを大切にしています。

## 活動の特徴

### 子どもたちの心の中にあるものを形にして心の外へ表していく活動

子どもは言語の発達が未成熟なため、言葉だけで自分の感情を表していくことは困難です。身体を動かしたり、絵を描いたりして感情を表現していきます。



### アートセラピーを継続する中で子どもたちの笑顔と作品の変化を実感

最初はメンバーの声かけに反応しなかった子どもたちが、回を重ねるごとに、身体全体を耳にして声かけを聞くようになっていきます。うれしい成長です。



### こころ踊る「おでかけ」 自然の中でアートとキャンプを楽しむ

子どもたちが楽しみにしている年1回のデイキャンプ。自然の中でのびのびとアートを楽しめます。列車の中で駅弁を食べる、そんな非日常にも心が踊ります。



## 参加者の声（施設職員の声）

※子どもたちの声を集めることが難しいため、これに代えて施設職員からの声を掲載します。

セッション後は部屋に戻っても絵を描いたり、工夫したりすることが増えています。できたものを飾つたりして喜んでいます。

アートセッションでは、大人がほぼマンツーマンで対応してくれます。特に幼児にとっては、そうした経験が重要だと思うのでありがとうございます。

子どもたちは普段ダメ出しをし合うようなことが多いため、アートセッションがお互いをほめあう場になればよいと思います。

デイキャンプは経験がなかったこともあり、とても喜んでいました。いつもとは違う場所でBBQをするなど、特別感を感じていたようです。